

2022年 7月5日

路線バスを活用した貨客混載事業実証実験の新たな取り組みについて

東急バス株式会社

東急バス株式会社（本社：東京都目黒区 社長：古川 卓）は、2022年7月1日から2022年9月30日までの間、貨客混載事業の拡大を見据え横浜市青葉区内を運行する路線バスを活用して、有限会社緑製麺（横浜市青葉区 代表取締役 岸上 亮輔）で製造された食品（製麺）を販売先まで輸送する実証実験に取り組むことといたしましたのでお知らせいたします。

東急バスでは現在、路線バスを活用して乗客と一緒に荷物を輸送する貨客混載事業を本格稼働し事業拡大をすすめているところですが、今般、新たにサービスを開始する貨客混載事業は新25系統（たまプラーザ駅～新百合ヶ丘駅系統）における営業所入庫システムを活用して、有限会社緑製麺に近接する覚永寺停留所から虹が丘営業所まで同社で製造された出来立ての製麺を輸送し、同社と連携して虹が丘営業所の定期券発売所や所内イベントで販売するもので、沿線企業の販路開拓や製品PRに貢献することで、地域経済の活性化を目指していくものです。

これにより、コロナ禍で利用が減少している路線バスの新たな収入源を生み出すことができ、輸送を委託する側にも事故等のリスクも含めた輸送に係る負担を軽減させることができます。

東急バスでは、今回の実証実験の結果を踏まえ、今後も同様の貨客混載事業に取り組み、新たな収入源を確保すると共に、環境負荷低減に向けた取り組みの一環として、総交通量削減による二酸化炭素排出量削減を目指し、サステナブルな美しい社会づくりに貢献してまいります。

【貨客混載事業概要】

1. 実験期間

2022年7月1日～2022年9月30日

2. 対象路線・便

新25系統（たまプラーザ駅～虹が丘営業所）・覚永寺発虹が丘営業所ゆき

【報道機関お問い合わせ先】

東急バス株式会社
経営統括室 企画部（広報担当） TEL：03-6412-0109

までお願いいたします。

【参考】この資料は、次の記者クラブにお届けしております。

- 国土交通記者会
- 国土交通省交通運輸記者会
- 横浜経済記者クラブ
- 横浜市政記者室
- 川崎記者クラブ